

北部機械金属業界の景況動向

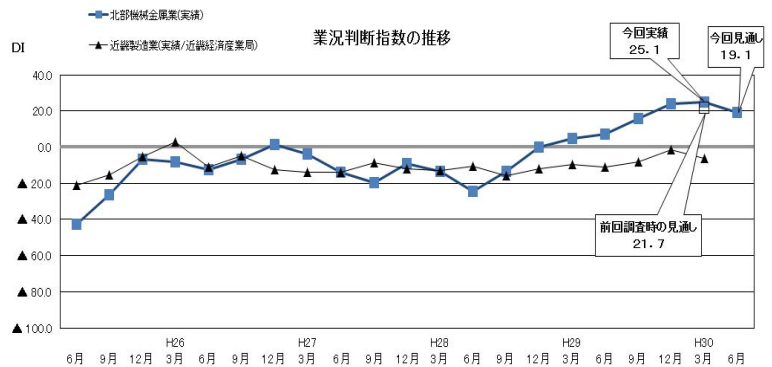
(2018年1~3月実績/2018年4~6月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業184社 【調査時点 平成30年3月下旬】
- 回答数：131社（回答率71.2%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:24、舞鶴市:18、綾部市:21、宮津市・与謝郡:14、京丹後市:54
 - ②取扱別 = 一般機械:46、電気機械:15、輸送機械:33、精密機械:19、その他:18
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:37、10~19人:27、20~49人:41、50~99人:17、100人以上:9
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

一 調査結果

1 景況動向判断

●1~3月実績のDI(業況判断指数)は25.1となり、10~12月期(以下「前回」)より1.0ポイント増加し緩やかな改善を示した(前回24.1)。地域別では、福知山市域が20.8(前回30.4)、舞鶴市域が-11.1(前回-14.3)、綾部市域が9.6(前回5.3)、宮津市・与謝郡域が14.4(前回30.8)、京丹後市域が48.2(前回41.5)と福知山市及び宮津・与謝域以外で改善の結果となった。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●4~6月見通しのDIは19.1となり、前回より2.6ポイント低下の見通しとなった(前回21.7)。地域別では、福知山市域が16.6(前回21.8)、舞鶴市域が-5.5(前回0.0)、綾部市域が4.7(前回10.5)、宮津市・与謝郡域が7.2(前回23.1)、京丹後市域が35.9(前回34.0)と京丹後市域のみで前回より改善の見通しとなった。

景況動向判断1~3月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	6.1	30.5	51.9	10.7	0.8
福知山市	6.1	29.2	54.2	8.3	4.2
舞鶴市	11.1	66.7	22.2		
綾部市	4.8	28.6	42.8	23.8	
宮津・与謝	7.2	14.3	71.4	7.1	
京丹後市	9.3	42.6	44.4	3.7	

景況動向判断4~6月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	3.1	26.7	59.9	9.9	0.8
福知山市	25.0	66.6	4.2	4.2	
舞鶴市	16.7	61.1	22.2		
綾部市	19.0	66.7	14.3		
宮津・与謝	14.3	78.6	7.1		
京丹後市	7.4	35.9	48.1	7.4	

2 採算状況

●1~3月の採算状況は、黒字とする企業が41.2%(前回39.5%)と1.7ポイントわずかに増加し、赤字とする企業は10.7%(前回13.2%)と2.5ポイント低下した。地域別では、黒字とする企業は福知山市域で54.1%と最も多く、全ての地域で黒字とする企業の割合の方が、赤字とする企業より多い結果となった。

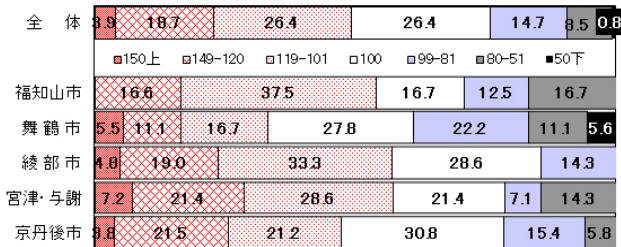
1~3月採算状況

地域	黒字	トントン	赤字
全体	41.2	48.4	10.7
福知山市	54.1	41.7	4.2
舞鶴市	22.2	55.6	22.2
綾部市	33.3	47.6	19.1
宮津・与謝	21.4	57.2	21.4
京丹後市	49.0	46.3	3.7

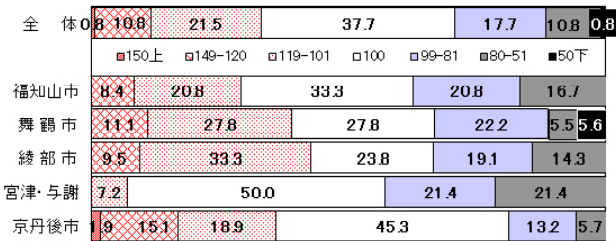
3 受注量

●1～3月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業が75.4%（前回74.8%）とほぼ横ばいに推移した。対3か月前比100%以上を確保した企業は70.8%（前回74.8%）と4.0ポイント低下となった。地域別では、全地域で5割以上の企業が、前年比及び3か月前比ともに100%以上の受注を確保した。

1～3月受注量(前年比%)

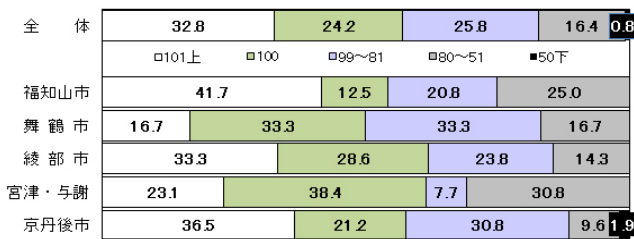


1～3月受注量(3ヶ月前比%)



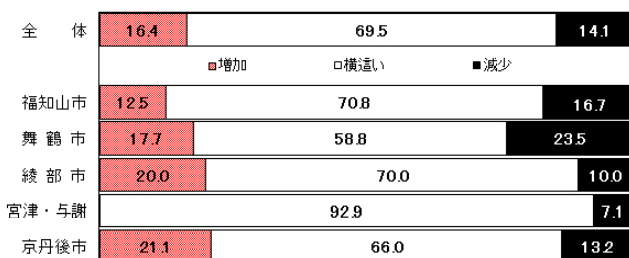
●1～3月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業の割合が57.0%（前回53.2%）と3.8ポイント増加した。全ての地域で受注能力100%以上の受注量を確保した企業の割合が5割以上となった。

1～3月受注量(受注能力を100として%)



●4～6月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合が16.4%（前回15.1%）と1.3ポイント増加、減少を見込む企業は14.1%（前回11.9%）と2.2ポイント増加の見通しである。

4～6月受注見通し

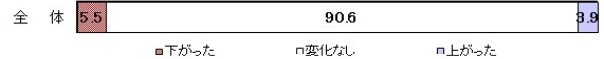


4 受注条件（受注単価／納期）

●受注単価が上がったとする企業は3.9%（前回4.1%）と0.2ポイント低下でほぼ横ばい、下がったとする企業は5.5%（前回3.3%）と2.2ポイント増加した。納期が短くなったとする企業は18.7%（前回22.0%）と3.3ポイント低下した。

5 資金繰り

1～3月受注単価(前年比%)

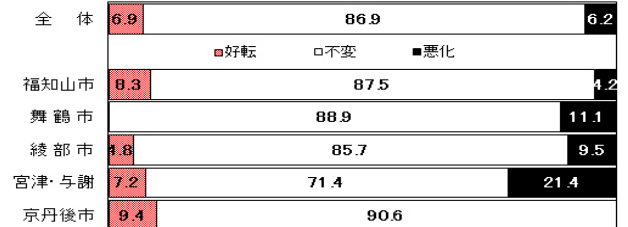


1～3月納期



●資金繰りは、好転とする企業が6.9%（前回7.0%）とほぼ横ばい、悪化とした企業が6.2%（前回7.0%）と前回より0.8ポイント低下した。好転企業が最も多い地域は、京丹後市域で9.4%だった。

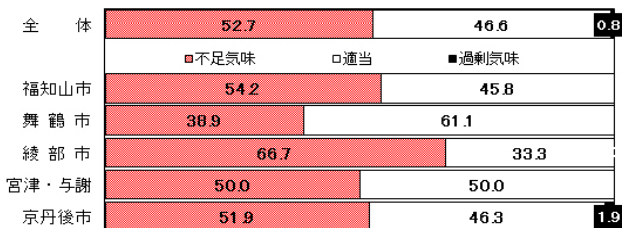
1～3月資金繰り



6 従業員数

●従業員数は、不足気味が52.7%と1.5ポイント増加（前回51.2%）、過剰気味が0.8%（前回2.3%）となった。福知山市及び綾部市域において、不足気味とする企業の割合が前回と比べ増加した。

1～3月従業員数



7 生産性向上対策

●「ムダの削減」が最も多く（55.0%）、次いで「人材活用」（44.3%）、「設備導入」（43.5%）、「売上アップ（販路開拓等）」（40.5%）が多い結果となった。

生産性向上対策(複数回答)

